

# Cコース ～二上山麓の道～

|        |        |        |        |        |        |        |      |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|------|
| 近鉄大阪線  | 約0.5km | 約0.8km | 約1.2km | 約1.0km | 約0.3km | 約0.5km | 二上山駅 |
| 8分     | 12分    | 20分    | 15分    | 5分     | 6分     |        |      |
| 大坂山口神社 | 大坂山口神社 | 志満堂    | 畑城(岡城) | 専称寺    |        |        |      |

移動距離  
約4.3km



## 1 大坂山口神社(逢坂)の本殿 県指定文化財

大坂山口神社は、逢坂と穴虫の2ヶ所に所在し、ともに式内社と称しています。逢坂の大坂山口神社は、本殿(県指定文化財)が三間社流造の檜皮葺でつくられています。寛永15年(1638)の棟札(県指定文化財)から、この時期の建立とされていますが、一部には室町時代の建築様式も残っています。神宝の神像や狛犬・宮座文書等は一括して市の指定文化財に指定され、二上山博物館で不定期に公開しています。

## 2 大坂山口神社(穴虫)

穴虫の大坂山口神社は、相撲神社として知られています。境内には、宮相撲の観覧席を残し、「馬場組」と書かれた記念碑がたてられています。この馬場組を牽引したのが、大の松為次郎(吉田栄蔵)という明治時代に活躍した穴虫出身の力士です。為次郎は大坂山口神社(穴虫)で引退興行を行っており、晩年は穴虫に相撲部屋をつくり、後進の育成にあたりました。

## 3 志満堂の石仏

近鉄南大阪線二上山駅から西へ600m、志満堂とよばれる堂の中に祀られています。上部に柄が残っていることから、本来は笠石が乗っていたと考えられます。石仏には「寛正三年」(1462)と刻まれており、市内最古の銘文入りの石仏です。

## 4 畑城(岡城)

大ジョーゴ山(大將軍山)にあり、中世の香芝南西部を拠点とした岡氏の城跡と推測されています。平時の居館跡は、発掘調査や「土井ノモト」などの地名から近鉄大阪線二上山駅の南側に広がる岡氏居館跡遺跡が推定されています。

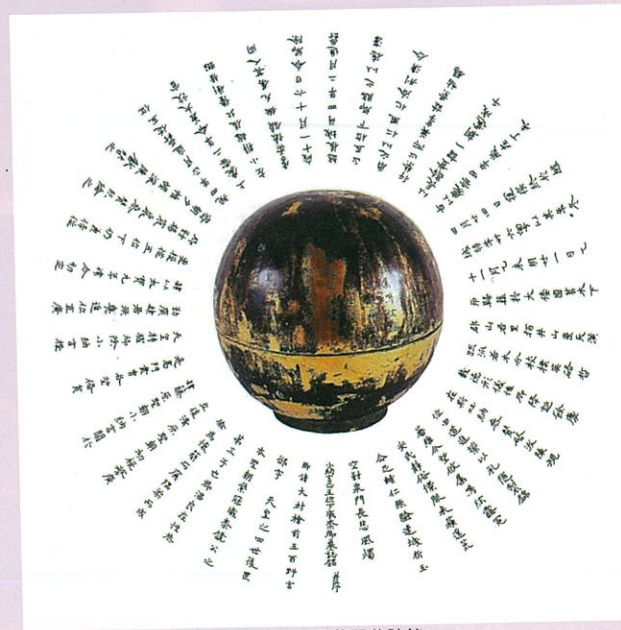
## 5 専称寺の本尊 市指定文化財

専称寺には、市内最古の木造十一面観音菩薩立像(市指定文化財)や木造阿弥陀如来立像(市指定文化財)が祀られています。境内には、県の保護樹木にも指定されている「しだれ桜」があり、春になると美しく境内を彩ります。

## 穴虫は国宝発見の地!

江戸時代の明和年間(1764～1771年)に穴虫で骨蔵器がみつかりました。正確な出土地点はわからないものの、ゴボ山がその発見地と推定されています。発見当時は、大甕を伏せた下に金銅製の骨蔵器があり、その中に火葬骨を納めた円形の漆器が入っていたと伝えられています。現存するのは国宝に指定されている金銅製の骨蔵器のみです。大きさは総高24.2cm、直径24.4cmで、蓋の部分には慶雲4年(707)の年号を含む391文字が刻銘されています。その銘文から威奈大村という人物の墓誌であることがわかりました。墓誌の書き出しや使用語句、書風などから中国文化に精通した人物が墓誌の製作に関わったと考えられています。

二上山博物館で精巧な複製品を常設展示しています。



威奈大村骨蔵器墓誌銘



大坂山口神社(逢坂)



本殿



神像(女神坐像・男神坐像)



大坂山口神社(穴虫)



本殿



「馬場組」記念碑



志満堂の石仏



畑城入口(二上山登山口)



木造十一面観音菩薩立像

しだれ桜